

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	企業理念を基に認知症ケアを実践しているが、利用者の尊厳を中心に考えるとスタッフの個別ケアの水準一定化が安定しない	全スタッフが各利用者様を理解し、自分自身のケアの現状を理念と照らし合わせた上で、ケアの質の向上につなげる	①「やまびこ」理念を毎日唱和し理解を深める ②各スタッフがケアの在り方を再確認し、意識を持ってケアをおこなってもらう。 ③現場OJTを推進 研修参加・毎月開催のミーティングでのキャリアアップ	12ヶ月
2	2	事業所の特性と役割を全スタッフが理解し、地域の方へ発信する頻度と内容を深めた上で向上させる	地域活動への参画を推進し、地域と密接あるグループホームやまびこを目指す	①施設行事の案内と活性化を更なる目標とする為に広報(通信)の強化 ②運営推進会議(2か月/回)での交流会強化 ③地域活動への参加頻度向上	12ヶ月
3	7	利用者様の不穏に対して言葉の問題が時折見受けられる	接遇の強化と意識付けを全スタッフが行え、虐待の芽の段階でつんでいき問題が起こらないようにする	①虐待防止委員会が中心となり周知徹底を行う ②虐待の芽チェックリストを毎月のミーティングでチェックし意識付けを行う ③スタッフ自体のストレスが起因とならないように心理的ケアへ管理者が配慮する	12ヶ月
4	15	スタッフの高齢化によるスキル維持困難と新規スタッフの指導教育内容がの一定化が保てない	能力差を埋めれるようにわかりやすいOJTの取り組みを継続的に日々行える	①各種業務マニュアルの定期的な見直し ②現場OJTをできるスタッフの確保と強化 ③個人面談での意見の聴取と反映 ④外部研修参加と毎月のWEB講習の確実な実施	12ヶ月
5	23	認知症が前提にあるが共有スペースでの交流が話題性に欠け孤立される時間が多くある	各種行事・レクリエーションで関係性を向上し、毎日を楽しく生活される	①月間行事を毎朝利用者様に案内し楽しみを持てるようにしていく ②アンケートを実施し嗜好内容を共有できる行事を推進していく ③必ず行った行事・レクに対し評価を行う	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。